

コホート研究の 現状と将来展望

日時：平成24年3月31日（土）13時～17時

場所：JST 東京本部別館 1階ホール（千代田区五番町7 K's五番町）

趣旨

コホート研究（前方視的集団追跡研究）は、精神科学・小児科学・公衆衛生学・認知発達神経科学・環境科学・保育学・教育学など、広範な分野でその重要性が顕在化してきました。Japan Children's Study: JCS（通称「すくすくコホート」）の実績と結果をもとに、今後の展開の可能性を討議します。生育研究、精神研究、ガン研究などを含めた総合的なコホート研究体制についても検討します。コホート研究に興味をもつ、研究者、専門家、一般の方などどなたでもご参加いただけます。

プログラム（総合司会 山縣然太朗 山梨大学教授、前JCS研究統括）

1 開会の辞（13:00 - 13:05）

青木 清 上智大学生命倫理研究所所長, 生存科学研究所理事長

2 特別講演「施策提言に向けた総合的なコホート研究の必要性（仮題）」（13:05 - 13:35）

金澤 一郎 国際医療福祉大学大学院長, 元日本学術会議会長

3 基調講演「領域架橋と研究ガバナンスの方法」（13:35 - 14:05）

小泉 英明 日立製作所役員待遇フェロー, 生存科学研究所理事

4 シンポジウム「コホート研究の将来に向けて」（14:20 - 16:50）

山縣然太朗 山梨大学教授, 前JCS研究統括：出生コホート研究の現状と意義

安梅 勅江 筑波大学教授, 前JCS研究統括補佐：「すくすくコホート」研究デザイン開発と次世代活用

定藤 規弘 生理学研究所教授, 前JCS研究統括補佐：社会脳科学とコホート調査

小枝 達也 鳥取大学教授：発達障害支援と学校教育へのコホート活用可能性

指定発言 河合優年 武庫川女子大学教授

前田忠彦 情報・システム研究機構 統計数理研究所准教授

パネル討議・質疑応答 JCSメンバー

5 閉会の辞（16:50 - 17:00）

小泉英明 日立製作所役員待遇フェロー, 生存科学研究所理事

17:15 - 懇親会

<お申し込み>

申込先

seizon@mx1.alpha-web.ne.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル303

TEL：(03)3563-3518 FAX：(03)3567-3608

主催：文部科学省所管財団法人生存科学研究所

共催：統計数理研究所 / (独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

